

2022年11月16日

株式会社 JDSC

AI活用による在庫・欠品削減効果を低コストで検証できる 「JDSC 過剰在庫・欠品削減シミュレーション」を提供開始 ～2022年12月末まで、期間限定の特別価格もご用意～

株式会社 JDSC（本社：東京都文京区、代表取締役：加藤 エルテス 聡志、以下「JDSC」）は、AIを活用した在庫・欠品削減効果を低コストで検証できる「JDSC 過剰在庫・欠品削減シミュレーション」の提供を2022年11月16日から開始します。合わせて、本シミュレーションのサービスインを記念し、2022年12月末までの申し込み限定で、特別価格での提供を行います。

製造業、卸売業、小売業においては、欠品防止と在庫削減の両立が重要な課題です。顧客のニーズに応じて多岐にわたる製商品をラインアップする必要がある一方、過剰在庫は、キャッシュフローの悪化、外部倉庫の保管費といった費用の増加、商品価値低下など多くの問題を発生させます。しかしながら、一般的な現場では、管理担当者の経験や勘に頼って在庫管理・発注を行わざるを得ないケースが多く、需要予測精度や適正な在庫管理、業務の属人化といった課題が山積しています。これらの課題に対応する実証実験（PoC）や高度な在庫管理ソリューションは存在するものの、利用には高額なコストが必要であり、導入に障壁があります。

JDSCは、これらの課題を解決するために、AIを活用した在庫・欠品削減効果を低コストで検証できる「JDSC 過剰在庫・欠品削減シミュレーション」の提供を開始します。本シミュレーションには、4つのメニューをラインアップしており、お客さまのニーズに合わせて180万円（税抜）からお試しいただけ、シミュレーション結果は最短2週間で送付します。本シミュレーションをご利用いただくことで、本格的な発注支援ソリューションを導入する前に、導入効果を実感いただけるとともに、数千万円のコストと数ヶ月の時間が必要となるPoCの実施が不要になります。本シミュレーションは、JDSCが提供する高精度なAIによる需要予測から在庫計画やコンテナ計算まで、一气通貫でお客さまの発注業務をアシストするAI発注支援ソリューション「demand insight®」の技術を活用しており、お客さまの要望に応じて、同ソリューションのご案内も可能です。

JDSCは、食品卸の株式会社さんれいフーズ（本社：鳥取県米子市、代表：並河 元、以下「さんれいフーズ」）に「JDSC 過剰在庫・欠品削減シミュレーション」を事前提供し、対象品目※の97.9%で57.9%の在庫削減ポテンシャルを確認しました。

※品目×物流拠点単位

■「JDSC 過剰在庫・欠品削減シミュレーション」メニュー

2022年12月末までのお申し込みに関り、特別価格で提供します。

メニュー	お客さまのニーズ	通常価格 (税抜)	特別価格 (税抜)
お手軽安全在庫分析	安価でクイックに在庫最適化の改善効果を知りたい	180万円	150万円 (30万円 Off)
既存販売計画× 安全在庫分析	既存の販売計画※を活用した在庫適正化の効果が知りたい	350万円	300万円 (50万円 Off)
AI 需要予測	・汎用需要予測 AI モデルで販売計画を作成したい ・既存の販売計画※と精度を比較してみたい	450万円	400万円 (50万円 Off)
AI 需要予測× 安全在庫分析	・汎用需要予測 AI モデルで販売計画を作成し、既存のものと精度比較をしたい ・需要予測で得られた販売計画※を活用した在庫最適化の効果が知りたい	650万円	600万円 (50万円 Off)

※販売計画は、当社が規定するフォーマットでご提出いただきます。

■シミュレーションの流れ

1. 面談

コンサルタントが、お客さまのご要望に基づき最適なメニューや必要なデータをご説明します。

2. メニューの決定

シミュレーションのメニューをお決めいただきます。

3. データ送付

シミュレーションに必要なデータをご提出いただきます。

4. レポートのご送付

最短2週間でレポートをお送りします。

2022年11月16日
株式会社 JDSC

■シミュレーション結果（抜粋） ※金額の一部を非公開としております。何卒ご了承ください。

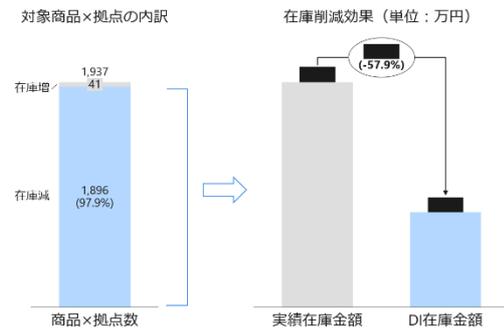
【さんれいフーズ】

安全在庫理論を活用した場合の在庫削減効果を測定した

内容	シミュレーション期間中の実績在庫と安全在庫理論を活用した場合の想定在庫を比較し、在庫削減効果を測定
検証期間	2021年4月1日～2022年3月31日（1年間）
対象商品×拠点	1,937 商品×拠点 ¹
対象条件	1年間の営業日が365日×7割と仮定し、全営業日の7割以上の日で出荷があった商品×拠点 (365日 × 0.7 × 0.7)

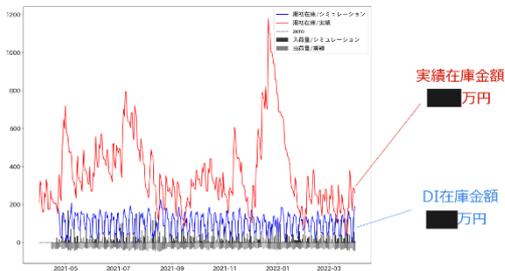
1.シミュレーションは商品×拠点単位で実施。例えば、関東支店×冷凍チャイルドパン、など

対象の 97.9% で █████ 万円 (▲ 57.9%) の在庫削減ポテンシャルを見込む



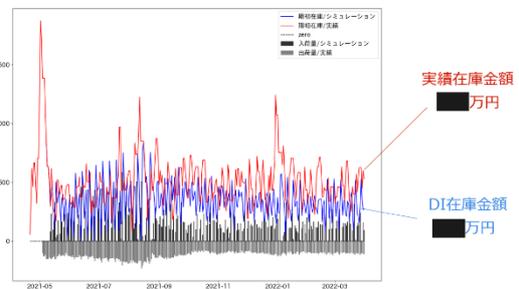
具体例①：demand insight® を使うことで 73.4% の在庫削減ポテンシャルを確認

倉庫L × 商品O



具体例②：demand insight® を使うことで 30.9% の在庫削減ポテンシャルを確認

倉庫M × 商品P



■本シミュレーションのお問い合わせ、お申し込み

お問い合わせフォーム (<https://jdsc.ai/contact/>) からご連絡ください。

以上

■株式会社 JDSC について (<https://jdsc.ai/>)

JDSC は、物流最適化や需要予測、フレイル検知や教育など、基幹産業を中心とした幅広い分野で、一貫通貫型の高付加価値な AI ソリューションを提供しています。アルゴリズムモジュールの開発とライセンス提供事業、IT システムの開発と運用事業、データサイエンスに関するビジネスマネジメント事業を行い、業界全体の課題解決に AI を活用し、日本の産業のアップグレードを目指しています。



報道関係者各位

2022年11月16日
株式会社 JDSC

《JDSC の3つの特長》

1. AI アルゴリズムに関する技術面での豊富な知見
2. AI による解決策の提示から実行まで一気通貫で支援するビジネス面での高い執行能力
3. 大手企業との共同開発と産業横展開を両立する生産性の高いビジネスモデル

※demand insight®は、株式会社 JDSC の登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 JDSC 広報担当 info@jdsc.ai